

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はなのき放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 12 月 11 日		～	令和 7 年 12 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	令和 8 年 1 月 13 日		～	令和 8 年 1 月 23 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 1 月 30 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的なケアが必要な児童が安心して通えるよう看護師の配置を行っています。また、喀痰吸引等第3号研修を受講して資格を獲得した職員を配置し、より安心した環境づくりに取り組んでいます。	看護師が常勤で勤務していることで、体調面のケアを行いながら一緒にレクリエーションやゲーム・創作などの活動に参加することが出来ています。医療的なケアが必要な児童の送迎には、喀痰吸引等第3号研修の資格を有する職員が添乗しています。	喀痰吸引等3号研修を有する児童指導員を今後も確保していきます。
2	今年度よりHUGを導入し、個別支援計画や実績表、施設申込、施設への連絡等が、電子にて保護者が気軽に使用出来るようになりました。また、送迎時に保護者と対面でお話しし、体調面も含めた情報共有を円滑に行っています。	保護者とのやりとりで検討が必要なこと、気になったこと等は、事業所内で共有し、場合によっては必要な対応を行っています。	
3	医療的なケアが必要な児童が多くおられるため、利用中は個別のリハビリメニューや少人数での活動を中心に取り組んでいます。また、遊びを通して他児童と交流する機会を大切に、ゲームやおでかけで活動の時間を楽しめるように支援しています。	理学療法士等と連携して、個々に合わせたストレッチメニューを考案し、実施しています。おでかけ企画では、地域の人と交流し、児童が安心して過ごせる居場所づくりに取り組んでいます。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	居室の広さが不十分である。	児童が成長し、身体が大きくなっていくと、現在使用している居室のみでは狭く感じることがある。	他の空いている居室を使用して、児童がのびのび過ごせる空間を確保する。集団活動では、多目的室や集会室を積極的に活用し、広い空間で遊びやゲームに取り組めるようにする。
2			
3			